

住民総参加によるイノシシの被害防止対策

1 要旨

イノシシの出没による、農作物の被害に悩まされている周防大島町の西方上田布地区にて、住民等で集落環境調査を行い、イノシシ被害の状況などについて情報の共有化を図るとともに、侵入防止柵や箱わなを設置することとなった。

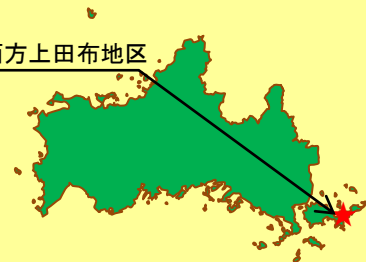
令和元年度に侵入防止柵や箱わなを設置して単年度で事業が完了した。

今後のイノシシ被害の減少が期待される。

2 地区の概要

地区名	大島郡周防大島町 西方上田布地区
戸数	3戸（うち、農家3戸）
耕作面積	0.5ha
主な作物	畑作
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和元年度

周防大島町 西方上田布地区



3 被害の状況と課題

- 数年前から、地区内でイノシシが頻繁に目撃されるようになり、農作物の被害が目立つようになった。特に畑作への被害が多く、特産の東和金時いもの被害も発生している。
- また、耕作地だけでなく、隣接している道路の近くまでイノシシが出没することも多々あり、住民生活に影響を及ぼしている。
- 鳥獣被害対策に詳しい住民が少なく、地区で鳥獣被害対策を牽引するリーダーがいなかった。

4 取組内容

(1)集落環境調査を実施し、関係者と対策を協議

- 町の紹介で、「鳥獣害に強い集落づくり事業」を活用し、侵入防止柵とイノシシ用箱わなの設置を検討した。
- 被害の実態やイノシシの行動について確認し、情報の共有化を図るとともに、対策の検討資料として、県、町職員と住民が一体となって、被害を受けている田畑や獣道、耕作放棄地などを確認し、対策を協議した。

(2)実践活動

- 主な取り組みとして、令和元年度に耕作地に侵入防止柵を設置し、猟友会と連携してイノシシの捕獲対策を実施するため、獣道を中心にイノシシ用箱わなを設置した。



関係者への聞き取り調査



令和元年度に設置した
イノシシ捕獲用箱わな



令和元年度に設置した侵入防止柵

5 取組の成果

- 令和3年度は令和2年度と比べ、イノシシの捕獲が町全体で減少し、当該地区においても近辺で2頭捕獲があったが、イノシシに侵入防止柵の下から侵入され、被害が確認された。
- 捕獲については、関係者や管理委託を受けた猟友会員が餌による箱わなへの誘因を行うとともに、猟友会員が捕獲時に止め刺し及び処分を行う。侵入防止柵の管理は、関係者が都度見回りを行い、破損箇所が見つければ補修するなど、地区ぐるみの取組が行われている。

【被害額】

(千円)

区分	事業実施前	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	250	0	▲ 250	50	▲ 200	-	-

6 地区代表者のコメント

集落で協力して積極的に対策に取り組んだことにより、被害は解消されつつあるが、侵入防止柵の下から侵入され被害が発生したので、侵入防止柵の強化等対策を行いながら、イノシシ被害防止ため引き続き皆で協力して取り組んでいきたい。

7 今後の取組（柳井農林水産事務所）

侵入防止柵の見回り点検等の集落ぐるみでの取組みが継続されるよう、普及啓発を進め、地域の中で連携しながら鳥獣被害防止対策を進めていく。